



平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東京ドーム

コード番号 9681 URL <http://www.tokyo-dome.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久代 信次

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 小田切 吉隆

TEL 03-3811-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	18,842	4.0	2,243	45.5	1,805	82.6	2,090	165.4
25年1月期第1四半期	18,121	45.2	1,542	—	988	—	787	—

(注) 包括利益 26年1月期第1四半期 11,067百万円 (628.0%) 25年1月期第1四半期 1,520百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	10.96	—
25年1月期第1四半期	4.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第1四半期	311,110	71,562	23.0	375.20
25年1月期	300,690	61,455	20.4	322.19

(参考) 自己資本 26年1月期第1四半期 71,562百万円 25年1月期 61,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年1月期	—	—	—	—	—
26年1月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,300	2.4	4,900	△1.0	3,600	△5.0	3,200	6.6	16.78
通期	80,500	△0.3	9,000	△6.7	6,300	△15.0	4,500	15.0	23.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 一社 （社名） 、 除外 1社 （社名） 東和工建(株)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年1月期1Q	191,714,840 株	25年1月期	191,714,840 株
26年1月期1Q	984,194 株	25年1月期	972,248 株
26年1月期1Q	190,738,379 株	25年1月期1Q	190,576,880 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
なお、連結業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において、プロ野球やコンサートイベントが好調に推移したことに加え、グループ全体としても集客数・客単価ともに堅調または好調に推移しております。

その結果、売上高は188億4千2百万円(前年同四半期比4.0%増)、となりました。

以上の結果、営業利益は22億4千3百万円(前年同四半期比45.5%増)、経常利益は18億5百万円(前年同四半期比82.6%増)、四半期純利益は20億9千万円(前年同四半期比165.4%増)となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

<東京ドームシティ>

(東京ドーム)

東京ドームは、プロ野球・コンサートイベントともに開催日数が前年同期比で増加、またWBCの集客が好調だったため、大幅な増収となりました。

(東京ドームシティアトラクションズ)

東京ドームシティアトラクションズは、堅調に集客しており、ほぼ前年並となりました。

(東京ドームホテル)

東京ドームホテルは、円安やWBC開催によるインバウンドや団体旅行客の増加により客室稼働率、客単価ともに順調に回復傾向で推移し、増収となりました。

(ラクーア)

ラクーアは、スパのリニューアルによる休館日が4日間あったものの、東京ドームシティ内のイベントが好調だったことや、テナントの大幅な入替えが好評だったことにより、ほぼ前年並となりました。

(ミーツポート)

ミーツポートは、イベントが順調に開催されたためテナントが好調に推移し、ほぼ前年並となりました。

以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は140億円(前年同四半期比6.7%増)、営業利益(セグメント利益)は30億2千万円(前年同四半期比18.1%増)となりました。

<流通>

ショッピングインは、好調だった大阪エリアにおいて大型テナントビルの新規オープンなどによる競合店の出店などの影響を受け伸び悩みました。

以上の結果、売上高は17億5千1百万円(前年同四半期比2.0%減)、営業損失(セグメント損失)は△3千6百万円(前年同四半期比2千3百万円の減益)となりました。

<不動産>

松戸公産(株)が、昨年度に取得した賃貸ビル「柿の木坂BMWビル」の賃貸収入が売上増に寄与したものの、(株)東京ドーム所有の「相模原ビル」におけるテナントの解約があり減収となりました。

以上の結果、売上高は3億8千3百万円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益(セグメント利益)は1億1千5百万円(前年同四半期比30.0%減)となりました。

〈熱海〉

熱海後樂園ホテルは、高稼働、高単価で推移いたしました。

以上の結果、売上高は10億3千8百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益(セグメント利益)は3千7百万円（前年同四半期比6千万円の改善）となりました。

〈札幌〉

東京ドームホテル札幌は、前年並みに推移しており、小幅な回復にとどまりました。

以上の結果、売上高は5億7千万円（前年同四半期比7.5%増）、営業損失（セグメント損失）は△7千6百万円（前年同四半期比2千1百万円の改善）となりました。

〈競輪〉

松戸競輪場は、昨年に比べFⅡレースの開催日数の増加が売上に寄与いたしました。

以上の結果、売上高は6億4千8百万円（前年同四半期比29.4%増）、営業利益（セグメント利益）は1億6千2百万円（前年同四半期比1億5千万円の増益）となりました。

〈その他〉

東和工建(株)の全株式を売却したことにより、同社を連結範囲から除外いたしました。

以上の結果、その他事業全体での売上高は7億2千3百万円（前年同四半期比31.4%減）、営業利益（セグメント利益）は6千2百万円（前年同期比25.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、株価の上昇による投資有価証券の増加により3,111億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ104億1千9百万円の増加となっております。

なお負債は、社債の償還を行いました、長期借入金を新規に借り入れたことから2,395億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千2百万円の増加となっております。

また純資産は、四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加により715億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ101億6百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結会計期間以降には、東京ドームにおけるコンサートイベントをはじめとするイベントの開催が堅調に推移するものと見込まれるため、通期の業績予想については平成25年3月14日の発表値と変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であった東和工建(株)は、当第1四半期連結会計期間に全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,496	12,387
受取手形及び売掛金	2,373	3,354
有価証券	100	—
たな卸資産	1,282	1,424
繰延税金資産	1,883	2,113
その他	1,114	2,103
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	19,247	21,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	214,256	213,291
減価償却累計額	△121,066	△121,458
建物及び構築物（純額）	93,189	91,832
機械装置及び運搬具	14,042	14,066
減価償却累計額	△11,046	△11,195
機械装置及び運搬具（純額）	2,996	2,870
土地	144,383	143,919
建設仮勘定	76	308
その他	19,382	19,783
減価償却累計額	△14,838	△15,048
その他（純額）	4,543	4,735
有形固定資産合計	245,189	243,667
無形固定資産		
借地権	425	425
ソフトウェア	228	220
その他	162	160
無形固定資産合計	816	806
投資その他の資産		
投資有価証券	24,566	38,457
長期貸付金	994	1,041
繰延税金資産	5,027	910
その他	3,194	3,138
貸倒引当金	△151	△149
投資その他の資産合計	33,631	43,399
固定資産合計	279,637	287,873
繰延資産		
社債発行費	1,806	1,856
繰延資産合計	1,806	1,856
資産合計	300,690	311,110

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	724	1,718
1年内償還予定の社債	28,995	28,483
短期借入金	29,259	28,981
未払法人税等	306	215
賞与引当金	376	662
ポイント引当金	139	145
商品券等引換引当金	7	6
固定資産除却等損失引当金	1,340	1,270
その他	14,795	14,666
流動負債合計	75,944	76,149
固定負債		
社債	62,605	60,558
長期借入金	60,370	62,429
受入保証金	3,652	3,498
繰延税金負債	86	286
再評価に係る繰延税金負債	30,809	30,760
退職給付引当金	3,273	3,231
執行役員退職慰労引当金	106	114
その他	2,387	2,521
固定負債合計	163,291	163,398
負債合計	239,235	239,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	777	777
利益剰余金	4,188	5,413
自己株式	△394	△401
株主資本合計	6,609	7,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,320	13,417
土地再評価差額金	50,977	50,888
為替換算調整勘定	△452	△571
その他の包括利益累計額合計	54,845	63,734
純資産合計	61,455	71,562
負債純資産合計	300,690	311,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)
売上高	18,121	18,842
売上原価	15,110	15,242
売上総利益	3,010	3,599
一般管理費	1,468	1,355
営業利益	1,542	2,243
営業外収益		
受取利息	15	16
受取配当金	49	54
為替差益	44	89
持分法による投資利益	76	96
その他	36	30
営業外収益合計	223	287
営業外費用		
支払利息	610	535
社債発行費償却	126	156
その他	40	33
営業外費用合計	777	726
経常利益	988	1,805
特別利益		
固定資産売却益	—	1
子会社株式売却益	—	24
受取保険金	19	—
補助金収入	41	35
特別利益合計	61	61
特別損失		
固定資産売却損	1	7
固定資産除却損	37	36
解体撤去費	29	22
特別損失合計	69	66
税金等調整前四半期純利益	980	1,800
法人税、住民税及び事業税	109	166
法人税等調整額	83	△457
法人税等合計	192	△290
少数株主損益調整前四半期純利益	787	2,090
四半期純利益	787	2,090

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	787	2,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	799	9,095
持分法適用会社に対する持分相当額	△66	△118
その他の包括利益合計	732	8,977
四半期包括利益	1,520	11,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,520	11,067

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高 外部顧客への 売上高	12,902	1,787	385	973	528	499	17,076	1,045	18,121	—	18,121
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	223	—	1	0	2	1	229	10	240	△240	—
計	13,126	1,787	386	973	531	501	17,306	1,055	18,361	△240	18,121
セグメント利益 又は損失(△)	2,558	△12	165	△22	△98	12	2,602	49	2,652	△1,109	1,542

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,109百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△1,125百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高 外部顧客への 売上高	13,742	1,751	382	1,038	567	648	18,130	711	18,842	—	18,842
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	257	—	1	0	3	0	263	11	275	△275	—
計	14,000	1,751	383	1,038	570	648	18,393	723	19,117	△275	18,842
セグメント利益 又は損失(△)	3,020	△36	115	37	△76	162	3,223	62	3,285	△1,041	2,243

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,041百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△1,040百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。